



わがまち散歩

ちょっとそこまで

道すがら、心通わす人がいる

古里の温もりに包まれながらあちらこちら、わがまち散歩

木山から熊本城下を結ぶ、かつての木山往還が通った古閑地区。福富地区に残る、いにしえから守り伝えられる伝統文化。出会ったたくさんの笑顔をたっぷりと紹介します。

美しい家庭菜園

大気が澄み渡り、空が一段と高く
感じる季節。過ごしやすい秋の到来
です。

さて今回の「わがまち散歩」は、福富・古閑地区です。飯田山を正面に広がる黄金色の田んぼでは、たわわに実った稻穂がこうべを垂れています。収穫が始ままり、香ばしい匂いが風に乗って流れています。

秋津川を渡る川風は心地よく、福

富橋を渡り、民家の路地をのんびりと歩いてみました。右手に第一保育所があるT字路を左に進み、しばらく行くと左手に、手入れが行き届いた家庭菜園を発見。数種類の野菜が、きれいに整えられた畝に栽培されています。よくよく眺めてみると草一本生えておらず、ドラマのセットのような美しい畠です。

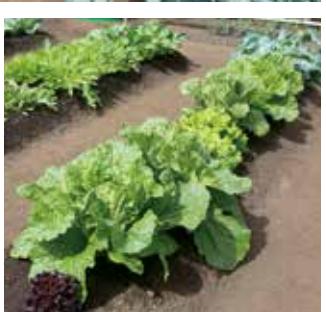
菜園の主は、田端一雄さん(66)です。「定年後は、夫婦でそれぞれに好きなことをしよう」と、田端さんが一人で始めたのが家庭菜園。それま

で野菜づくりの経験はなく、今年で3年目といえども実に立派な野菜が育っています。

A portrait of a man with long, thin, grey hair, smiling at the camera. He is wearing a grey t-shirt with a small, dark logo on the left chest. The background is slightly blurred, showing some greenery and a building.



上／数種類の野菜
が育っている田端
さんの家庭菜園



雑草が1本もない美しい畠

収穫した野菜は、離れて暮らす家族が受け取りにやつて来るそうです。近所にもお裾分けをするなど、田端さんの趣味の家庭菜園を喜んでいる人は多いようです。